

武田雄飛丸君(国文3)への

「無期停学」処分

今すぐ撤回しろ!!

武田君が「無期停学」処分を徹底弾劾する!

法大生のみなさん! 10月25日付の僕への「無期停学」処分は絶対に許せません! これは、あの10月19日の1000人の法大生が参加したキャンパス解放の大闘争に恐怖しての報復処分です。「学生は黙って大学の言うことに従え!」という、3万法大生の可能性を押しつぶす処分そのものです。

直接の「理由」は、10月6日の法大での、大久保利晃(放影研理事長)という悪名高い御用学者講演会を弾劾したことを「授業妨害」とするものです。法大当局は、原発推進の人物は呼んでおきながら、学内では反原発を訴える学生を弾圧する。それが今の法政大学のやり方です。

さらに、「迷惑行為」や「大学の名誉を毀損」という文言。119人の学生を逮捕し、13名の学生を処分してきた法大が守る「名誉」とは何でしょうか。多くの学生を逮捕・処分し、御用学者は大歓迎。法政の「名誉」とは、学生を管理し、大学当局が我が物顔にふるまう「名誉」でしかありません。

僕の国際文化学部には、島田雅彦をはじめ「リベラル」教授がたくさんいます。島田先生は彼の著作でも「学生運動」「反原発」などと言います。しかしそんな彼は、当該学部の僕が学生運動を行い処分される現実には一言ももの申さなればかりか、3万円の「手当」と引き替えに弾圧までやっています。反原発を訴える学生への処分に加担する、これが今の「進歩的文化人・知識人」の正体です。

私たちが退学・停学・逮捕をかけてかちとろうとしてい

るのは、大学における政治活動・表現の自由です。学内で自由にビラまきもできず、デモや集会の一つもない、これがどれほど異常なことか。世界では、キャンパスでの学生の闘いが当たり前のように存在します。それこそ大学です。しかし法大当局は、「迷惑」「ルール」「マナー」などという、権力者にとって都合の良い言葉を乱発し、現状を批判する学生を処分しているわけです。

大学内でのデモやビラまきが「迷惑」という社会は、本当に正しいでしょうか? 権力者によって言論の自由や闘いが解体される時に、「迷惑」や「マナー」がいかに都合よく使われてきたか。首相官邸前の20万人の反原発デモを「騒音」という輩と同じです。学費を一方向的に値上げし、規制を強化し、ポアソナードタワーを建てて40万円も学費を値上げした大学の方が、よほど法大生にとっては「迷惑」です。

「迷惑」や「マナー」などの言説に屈することなく、私たちは何度でも「10・19型」の学内集会とデモを呼びかけ、貫徹する所存です。僕は必ずや、処分を撤回させて学内に戻り、今年の学祭規制を法大生のみなさんとともに粉碎します。「処分撤回!」の声をみんなで上げていきましょう!



人間環境学部2年生からの弾劾アピール

本処分は福島への敵対宣言だ。怒りを込めて弾劾する! 国際文化学部教授会は、自らの死刑執行書にサインしたのだ! あえて福島の怒りの炎の前に立ちはだかったのだ! 自分で自分の首を絞めた。このことを後悔する日は近いうちにやってくる!

①反原発闘争のさらなる高揚を! 本処分は、御用学者講演会への弾劾行動を「理由」としている。これは反原発運動への敵対だ。首相官邸前や国会で闘う人々の「カネより命」という当たり前の思いを踏みにじり、再稼働を強行した野田政権と電力資本の立場に立っている。それは、「東北の怒れる鬼」の怒りの炎にさらに油を注ぐ! 11月11日には国会100万人行動が呼びかけられている。法大生は、反原発闘争に決起しよう!

②「似非(えせ)リベラルを許すな! 国際文化学部の教授どもの犯罪性は大きい。原発御用学者を弾劾した武田君は処分されたが、処分を下した教授の中には、明確に反原発を主張する教授が含まれている。紙の上や密室(教室)で「リベラル」は語れても、現実世界では立場を表明できない。そのペテンと恥知らずを弾劾する!

③新自由主義をうち破ろう! 「無期停学」処分に加担した連中を絞首台に送り込むためには、80年代の国鉄分割・民営化以降進められた、今の新自由主義の社会のあり方を変えなければならない。隣の仲間とつながり、キャンパスを学生の手に取り戻すことだ。現実の闘いが人を成長させ強くする。11月4日に全国から労働者・農民・学生が集まり、日比谷野音で集会が開かれる。法大生は集まろう! 処分への「怒りの鬼」の前に立ち塞がるものは誰であろうと許さない!

全学連

全日本学生自治会総連合(斎藤郁真委員長)

TEL 03-3651-4861 <http://www.zengakuren.jp/> mail_cn001@zengakuren.jp